

がん患者さんのための情報サイト「がん+ (プラス)」

特集「大腸がん～ステージ分類、再発、転移、遺伝子による治療選択の見極め」

国立がん研究センターや東京女子医科大学病院など国内トップドクター監修の解説記事を掲載

<https://cancer.qlife.jp/>

月 600 万人が利用する日本最大級の病院検索・医薬品検索・医療情報サイト群ならびに医療者向けサービスを運営する株式会社 QLife (キューライフ/本社: 東京都港区、代表取締役: 有瀬和徳) は、がん患者さんのための情報サイト「がん+ (プラス)」では、11 月の特集「大腸がん～ステージ分類、再発、転移、遺伝子による治療選択の見極め」の掲載を開始した。特集では、治療の最前線に立つドクター監修による解説記事を掲載する。また、11 月より、がん治療に関する注目の話題を解説するコーナー「がんトピックス」がスタート。学会レポートや連載、がん遺伝子解析記事などさまざまなテーマのコンテンツを掲載する。

【特集「大腸がん～ステージ分類、再発、転移、遺伝子による治療選択の見極め」】



- ◆ステージで異なる大腸がん治療 ステージ 1～3 の治療方針とは  
監修: 東京女子医科大学 消化器・一般外科教授 板橋道朗先生
- ◆ステージ 4 の大腸がん治療、手術、化学、放射線療法の選択  
原発巣、転移巣で手術できる場合とできない場合の見極め  
監修: 国立がん研究センター東病院 消化器内科医長 設楽紘平貴之先生
- ◆大腸がんの遠隔転移 肝臓、肺、脳の転移巣に対する第一選択は手術、局所療法を検討  
監修: 東京医科歯科大学名誉教授・特任教授 光仁会第一病院院長 杉原健一先生
- ◆局所再発した大腸がんの治療選択 手術ができる場合、できない場合の基準と考え方  
監修: 都立駒込病院外科部長 高橋慶一先生
- ◆プレジジョン・メディシン(精密医療)が変える がん遺伝子変異別の大腸がん治療とは  
監修: 国立がん研究センター東病院 消化管内科長 吉野孝之先生



【がん+ (プラス)について】 <https://cancer.qlife.jp>

がん+ (プラス)は、がんと生きるすべての人の「プラス」になる情報を提供する、がん医療とがん患者さんの距離を縮めるがん医療メディア。「〇〇がんと言われ」もっと知りたい患者さんのために、最新のがん治療や治療選択、病院情報まで、がん治療に関するあらゆる情報を紹介する。掲載コンテンツは、肺がん、乳がん、大腸がん、前立腺がん、肝臓がんなど、がん種別にニュースや最新のトピックスを取り上げるほか、定期的に1つのがん種に絞り、最前線に立つドクターや患者会などを独自に取材。がん治療の“いま”を伝えていく。

---

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名: 株式会社 QLife (キューライフ)

所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 10F

代表者: 代表取締役 有瀬和徳 設立日: 2006年(平成18年)11月17日

事業内容: 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念: 医療と生活者の距離を縮める URL: <http://www.qlife.co.jp>

---

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当 田中 TEL : 03-6685-2515 / E-mail : [info@qlife.co.jp](mailto:info@qlife.co.jp)